

サイバー攻撃への対応強化について

2011年11月10日

KISIA/JNSA/JASA

ITは、社会の基盤として定着し、日韓の友好関係を深め、両国の更なる発展を目指すためには不可欠なものである。そのITがより有効な手段として、両国関係の強化に資するためにも、情報セキュリティの確保が欠かせない。

韓国 KISIA（知識情報セキュリティ産業協会；会長 李得春）、JNSA（日本ネットワークセキュリティ協会；会長 田中英彦）及び JASA（日本セキュリティ監査協会；会長 土居範久）は、日韓友好の増進の基礎となる情報セキュリティの強化を図るため、連携し、新たな脅威への対策を検討している。

本日、第2回の日韓情報セキュリティシンポジウムを開催するにあたり、日本並びに韓国において最近急増しているサイバー攻撃に関して、両国の政府公共機関・民間企業並びに団体・国民に対し、以下の5点について呼びかけを行うものである。

1. 両国の人々は、より一層の情報セキュリティ対策を行うことで、重要な情報資産を保全すると共に、自らが意図せずに攻撃者に加担することがないようにすること
2. サイバー攻撃は高度化しており、防御のみならず、万一の攻撃成功に備えて監視や、初動体制の構築が急務である。日本と韓国の情報連携・共有の強化を手始めに、国際的な官民の協力体制を構築すること
3. サイバー攻撃の手法は、技術的な弱点を狙うと共に、人の心理的弱点を狙う傾向が強まっていることから、情報セキュリティの技術的対策のみでなく、人的・組織的対策をもより強化すること
4. 情報セキュリティに責任を有する組織は、情報セキュリティの技術的・人的・組織的対策をより確実にするため、情報セキュリティマネジメントシステムを確立することに加えて、更に、重要な情報資産の安全・安心の確保のための手段を講じ、その有効性を確実にするために情報セキュリティ監査をより強化すること
5. 政府公共機関と情報セキュリティ産業団体がより一層協力し、情報セキュリティ担当者のみでなく、組織の経営者や従業員、ならびに一般家庭におけるサイバー攻撃対策に関する知識の普及・啓発をより一層強化すること、

以上